

令和2年7月洪水による中国地方整備局管内の出水概況 【第2報】令和2年7月22日（水）



～目 次～

1. 気象及び出水の概要	・・・P2～5
2. 主な河川における雨量・水位の状況 1) 江の川, 2) 高津川, 3) 高梁川, 4) 太田川	・・・P6～11
3. 被害状況について 1) 江の川, 2) 太田川	・・・P12～15
4. 避難に係る情報提供	・・・P16～17
5. 排水ポンプ車等の稼働状況	・・・P18～19
6. 治水事業の効果	・・・P20～22

1. 気象及び出水の概要

■日本海西部の低気圧からのびる前線が、13日から14日にかけて中国地方を通過しました。
暖かく湿った空気が流れ込んだため、広い範囲で150～200ミリの大雨となりました。

■等雨量線図

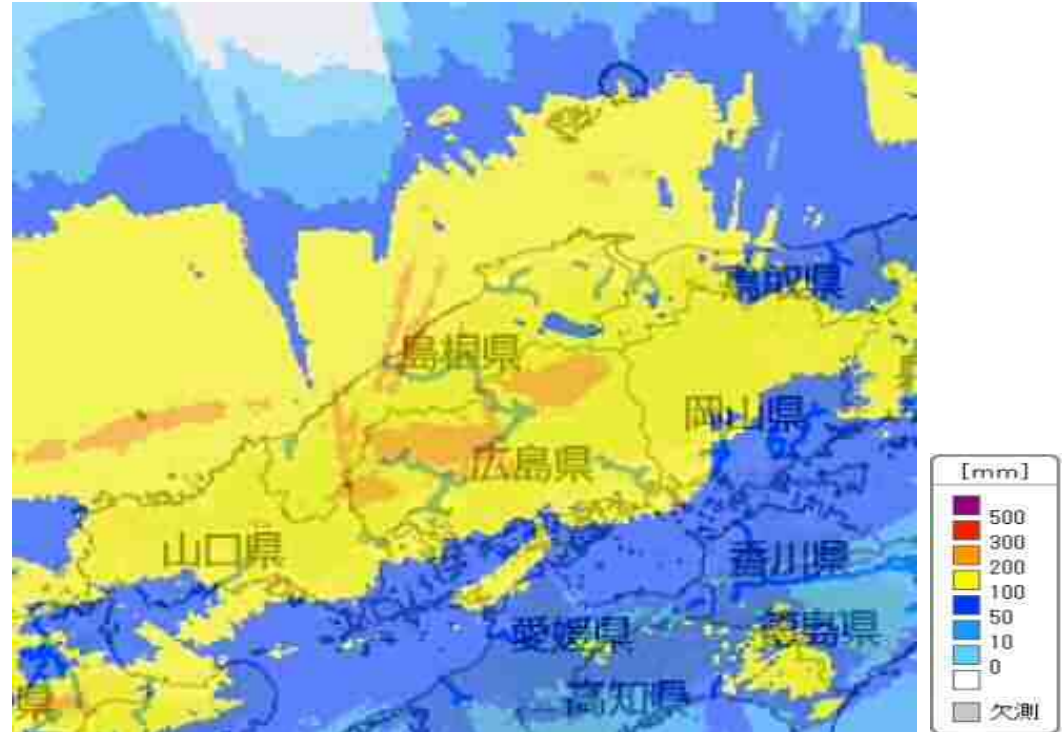
※降り始めからの総雨量
(7/12 15:00～7/14 11:00)



【国土交通省作成】

■累加雨量図 (Cバンドレーダ)

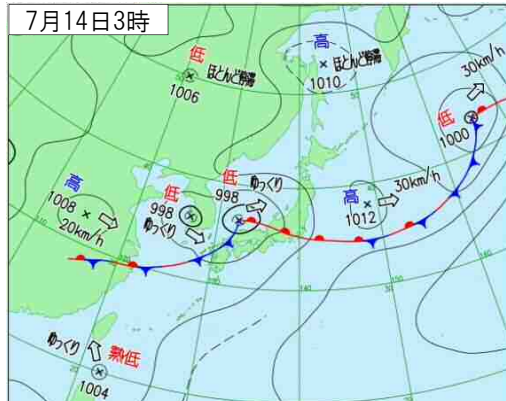
※降り始めからの総雨量
(7/12 15:00～7/14 11:00)



【国土交通省作成】

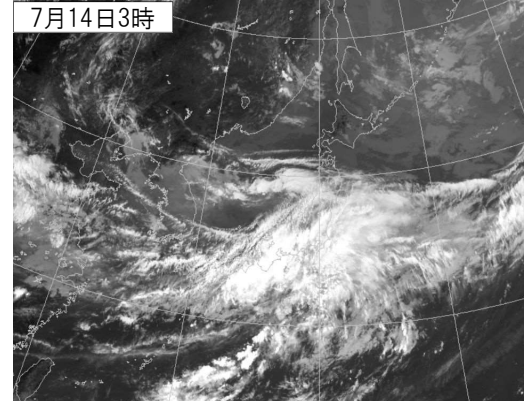
■実況天気図

【気象庁HPより】



■衛星画像

【気象庁HPより】



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

国管理河川の概況

第1報と同じ

■ 今回の出水では、国管理河川4水系4河川11観測所で「氾濫危険水位」を超過、4水系5河川5観測所で「避難判断水位」を超過、7水系7河川12観測所で氾濫注意水位」を超過しました。

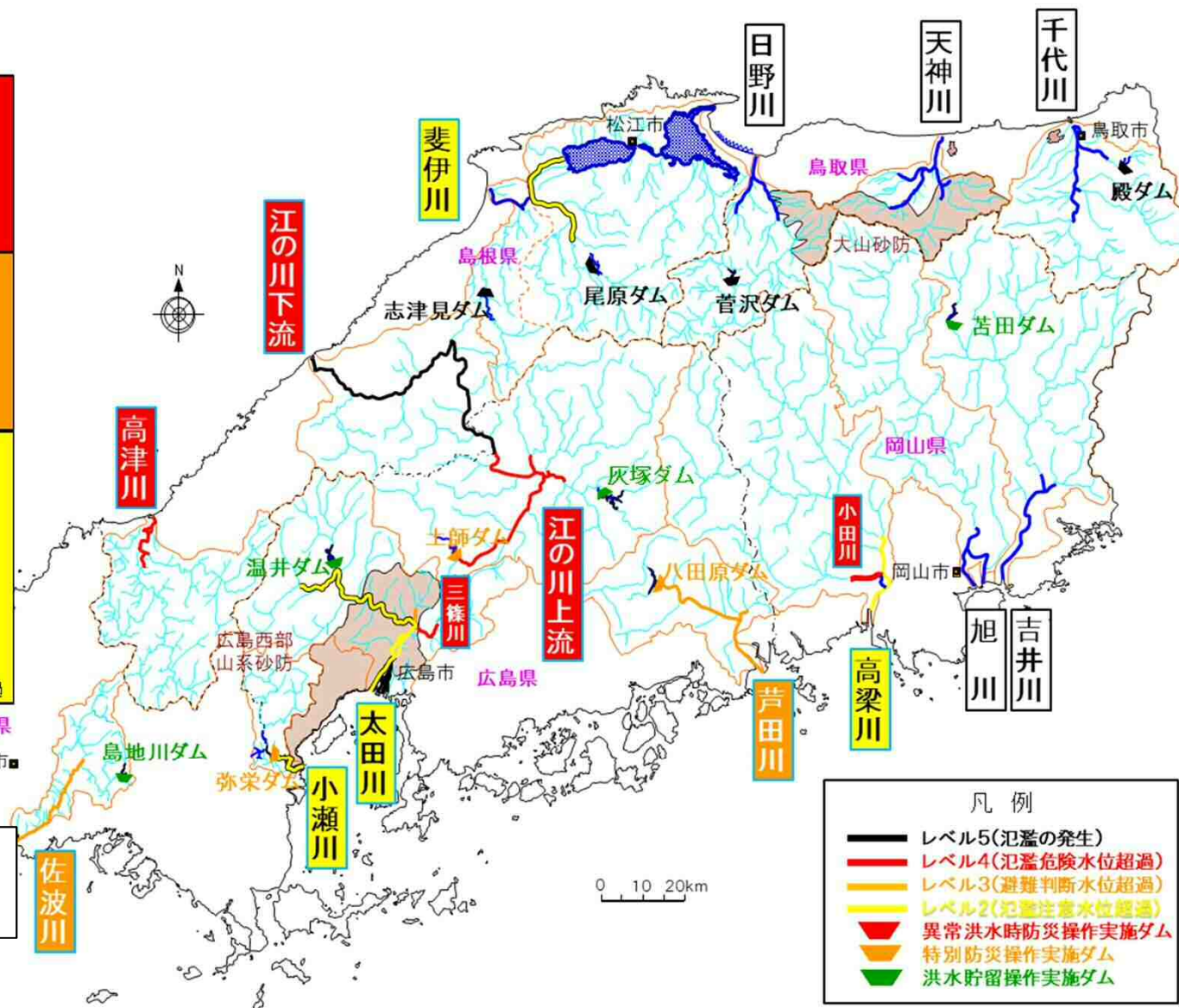
■ 河川出水状況（国管理区間）

氾濫危険水位超過 4水系4河川 11観測所	江の川水系 江の川（川本、谷住郷、川平、都賀、大津、吉田、栗屋、尾関山） 高津川水系 高津川（高角） 太田川水系 三篠川（中深川） 高梁川水系 小田川（矢掛）
避難判断水位超過 4水系5河川 5観測所	江の川水系 神野瀬川（神野瀬川） 馬洗川（南畑敷） 芦田川水系 芦田川（矢野原） 太田川水系 根谷川（新川橋） 佐波川水系 佐波川（漆尾）
氾濫注意水位超過 7水系7河川 12観測所	斐伊川水系 斐伊川（灘分） 高津川水系 高津川（神田） 江の川水系 西城川（三次） 高梁川水系 高梁川（白羽、酒津） 芦田川水系 芦田川（山手） 太田川水系 太田川（土居、加計、飯室、祇園大橋、矢口第一） 小瀬川水系 小瀬川（小川津）

※観測所でのレベル超過

■ 主な一般被害（国管理区間）

★ 江の川水系江の川沿川の被害状況（島根県江津市・川本町・美郷町）
浸水面積※1：約223ha
浸水戸数※1：143戸



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

管内の直轄管理ダムによる洪水調節

第1報と同じ

■7月13日(月)から14日(火)までに、洪水調節を行った管内の直轄管理の7ダムで、約4千万 m^3 の洪水を貯留しました。

■洪水調節状況（国管理ダム）

★特別防災操作＜3ダム＞

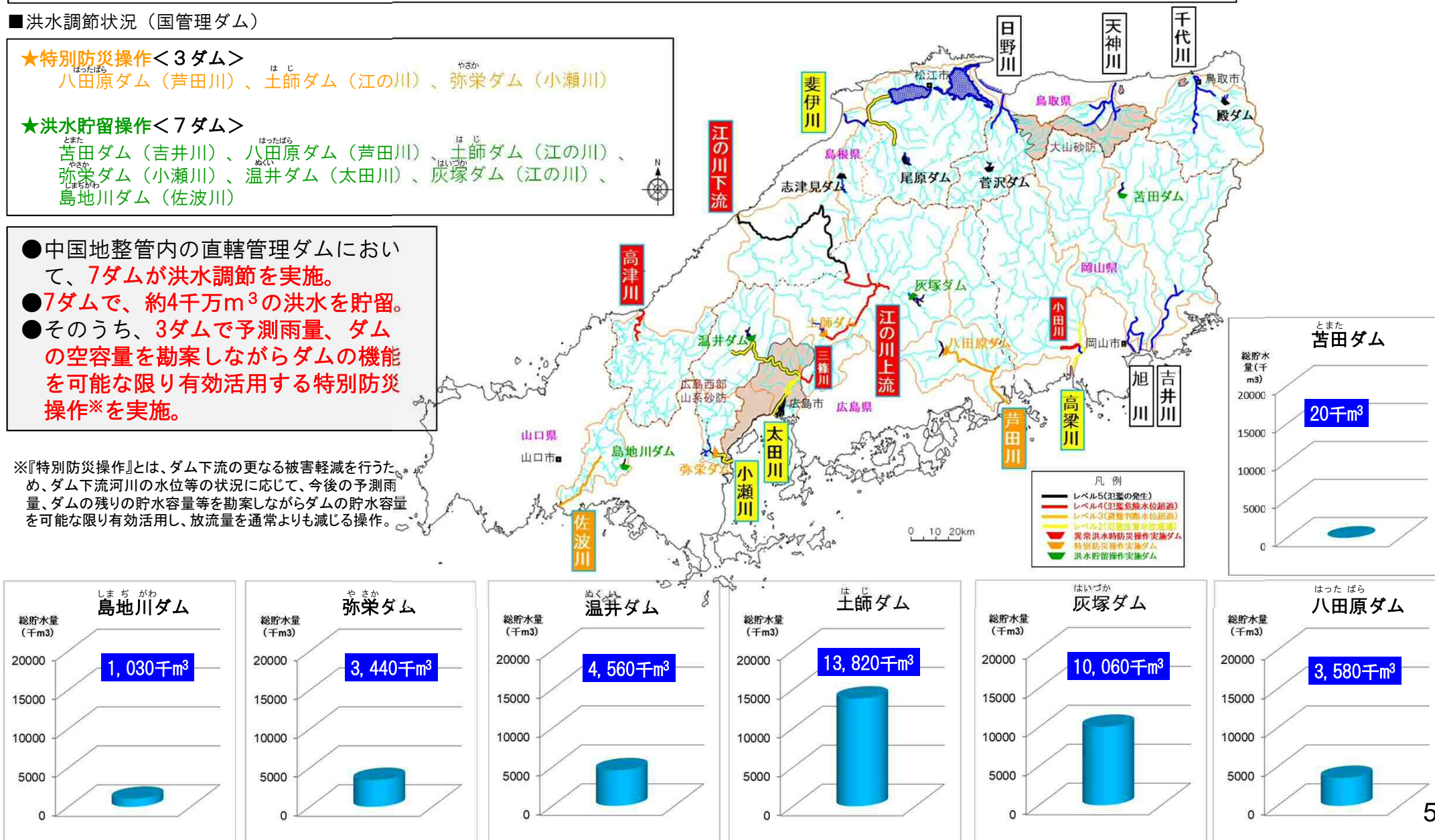
八田原ダム（芦田川）、土師ダム（江の川）、弥栄ダム（小瀬川）

★洪水貯留操作＜7ダム＞

苦田ダム（吉井川）、八田原ダム（芦田川）、土師ダム（江の川）、
弥栄ダム（小瀬川）、温井ダム（太田川）、灰塚ダム（江の川）、
島地川ダム（佐波川）

- 中国地整管内の直轄管理ダムにおいて、7ダムが洪水調節を実施。
- 7ダムで、約4千万 m^3 の洪水を貯留。
- そのうち、3ダムで予測雨量、ダムの空容量を勘案しながらダムの機能を可能な限り有効活用する特別防災操作※を実施。

※『特別防災操作』とは、ダム下流の更なる被害軽減を行うため、ダム下流河川の水位等の状況に応じて、今後の予測雨量、ダムの残りの貯水容量等を勘案しながらダムの貯水容量を可能な限り有効活用し、放流量を通常よりも減じる操作。



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

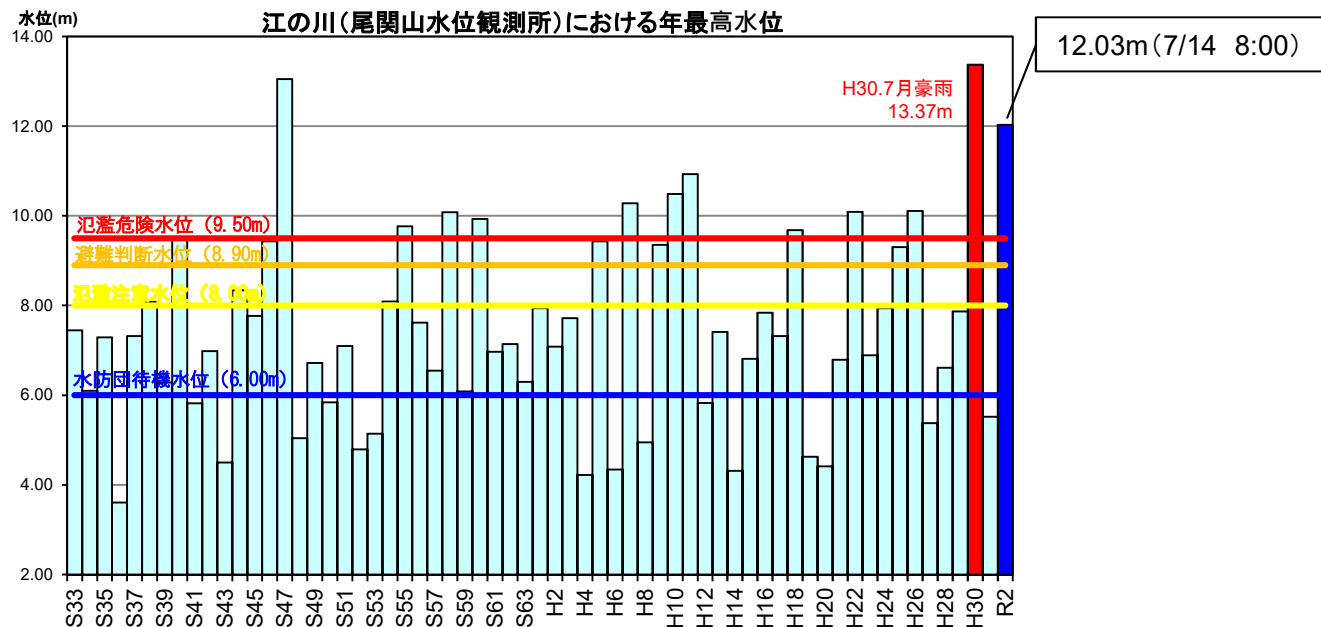
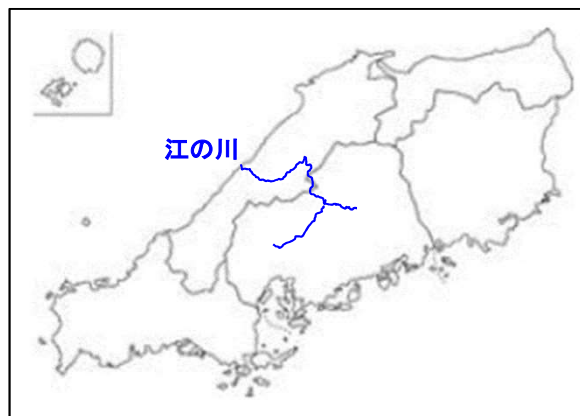
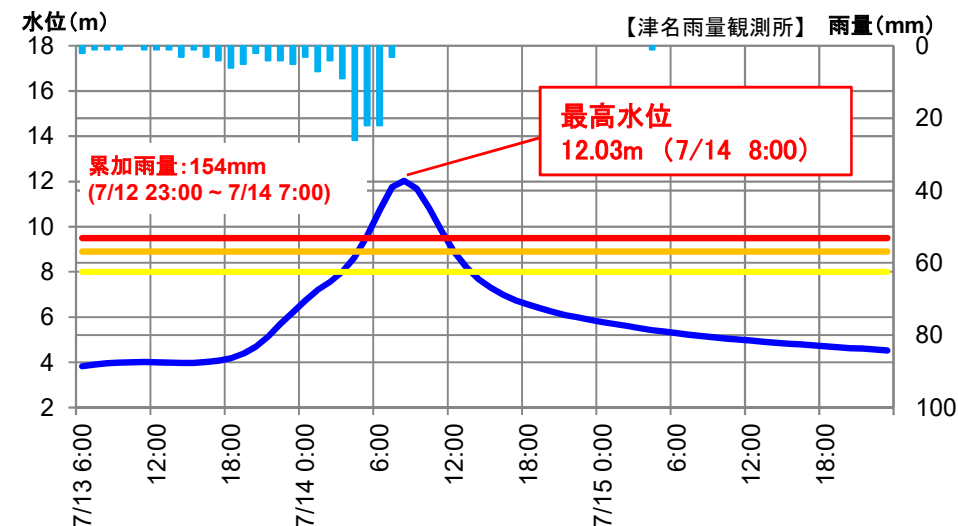
2. 主な河川における雨量・水位の状況

- 1) 江^{ごう}の^の川^{かわ}
- 2) 高^た津^か川^{つがわ}
- 4) 高^た梁^{かはし}川^{がわ}
- 3) 太^{おお}田^お川^{たがわ}

水位の状況(江の川水系江の川(上流)尾関山地点)

■江の川水系江の川（上流）尾関山地点において、氾濫危険水位(9.50m)を超過し、最高水位12.03mを記録しました。

■江の川水系江の川(上流) 尾関山水位観測所

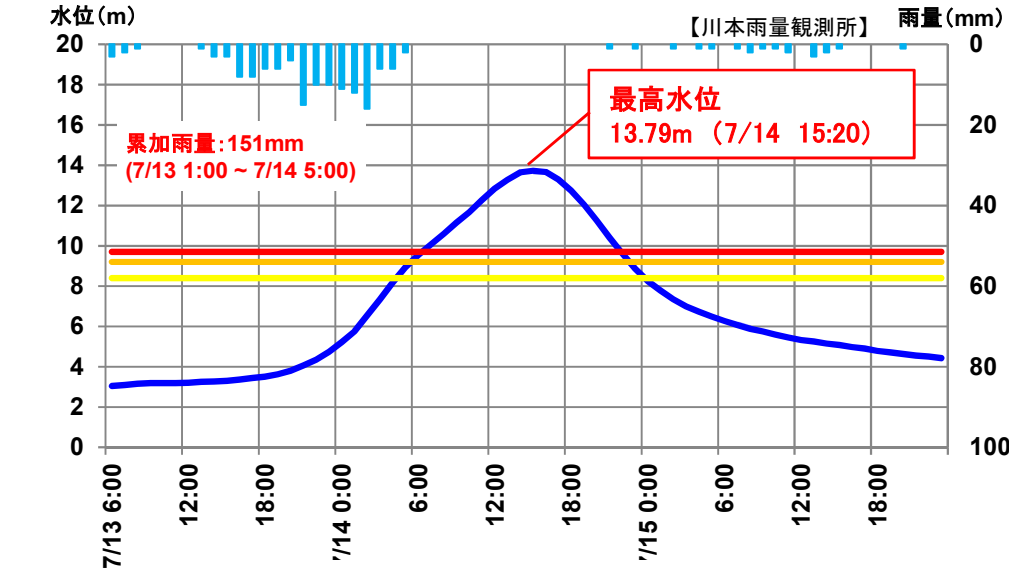


※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

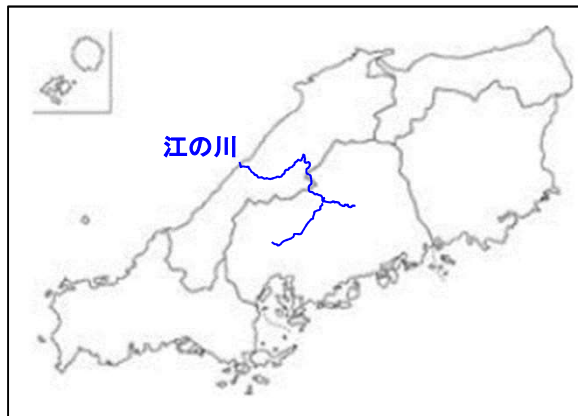
水位の状況(江の川水系江の川(下流)川平地点)

■江の川水系江の川(下流)川平地点において、氾濫危険水位(9.70m)を超過し、最高水位13.79mを記録しました。

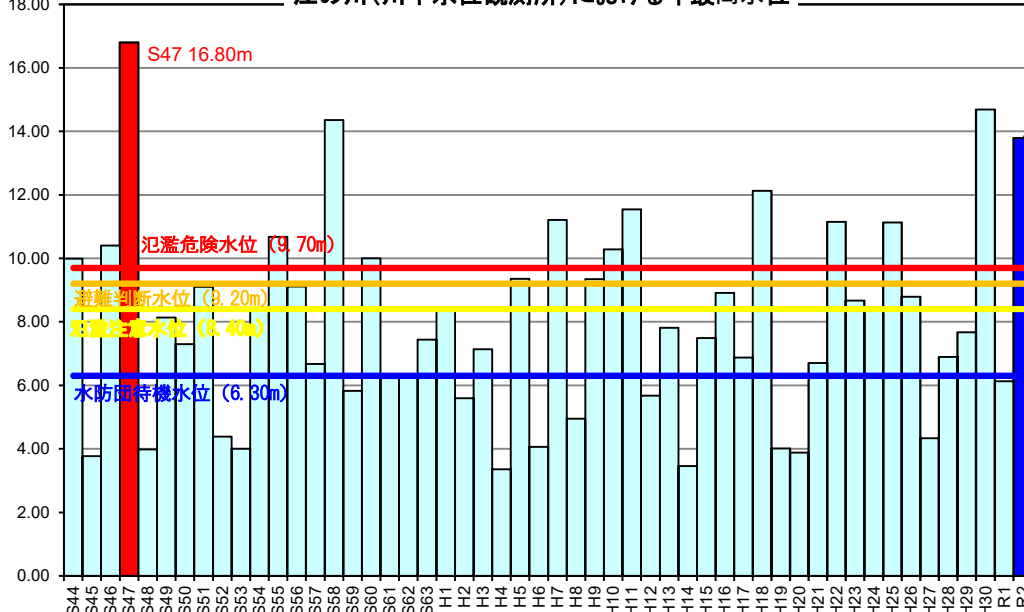
■江の川水系江の川(下流)川平水位観測所



雨量・水位グラフ 凡例	
	雨量
	水位
	氾濫危険水位
	避難判断水位
	氾濫注意水位



江の川(川平水位観測所)における年最高水位

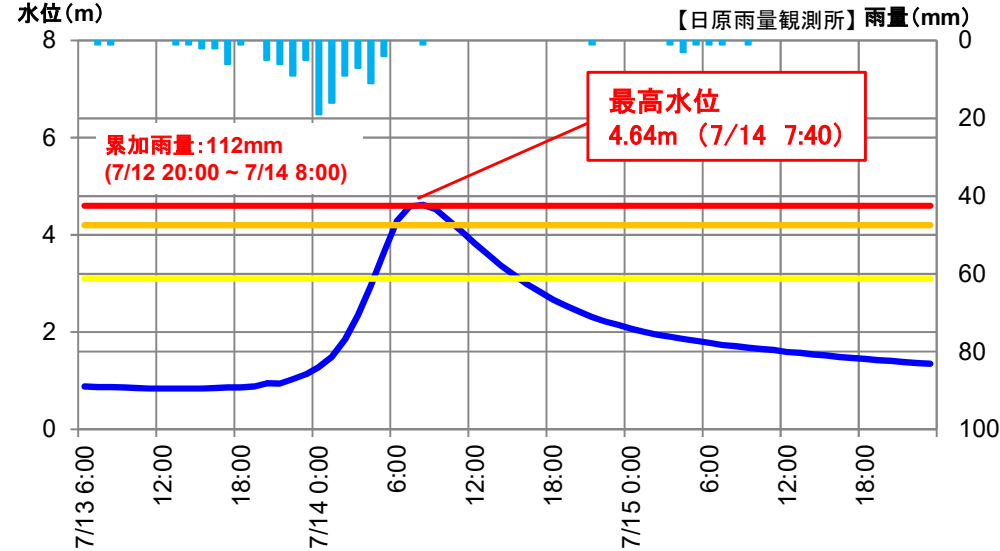


※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

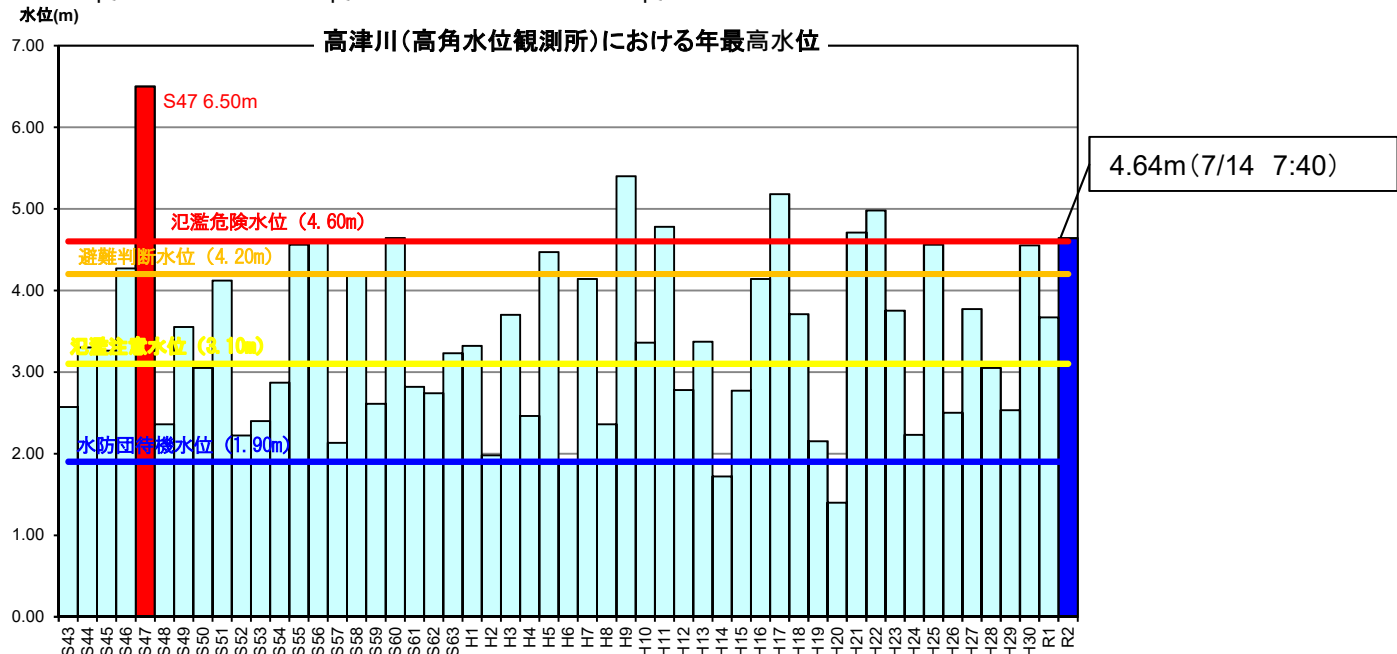
水位の状況(高津川水系高津川 高角地点)

■高津川水系高津川 高角地点において、氾濫危険水位（4.60m）を超過し、最高水位4.64mを記録しました。

■高津川水系高津川 高角水位観測所



雨量・水位グラフ 凡例	
	雨量
	水位
	氾濫危険水位
	避難判断水位
	氾濫注意水位

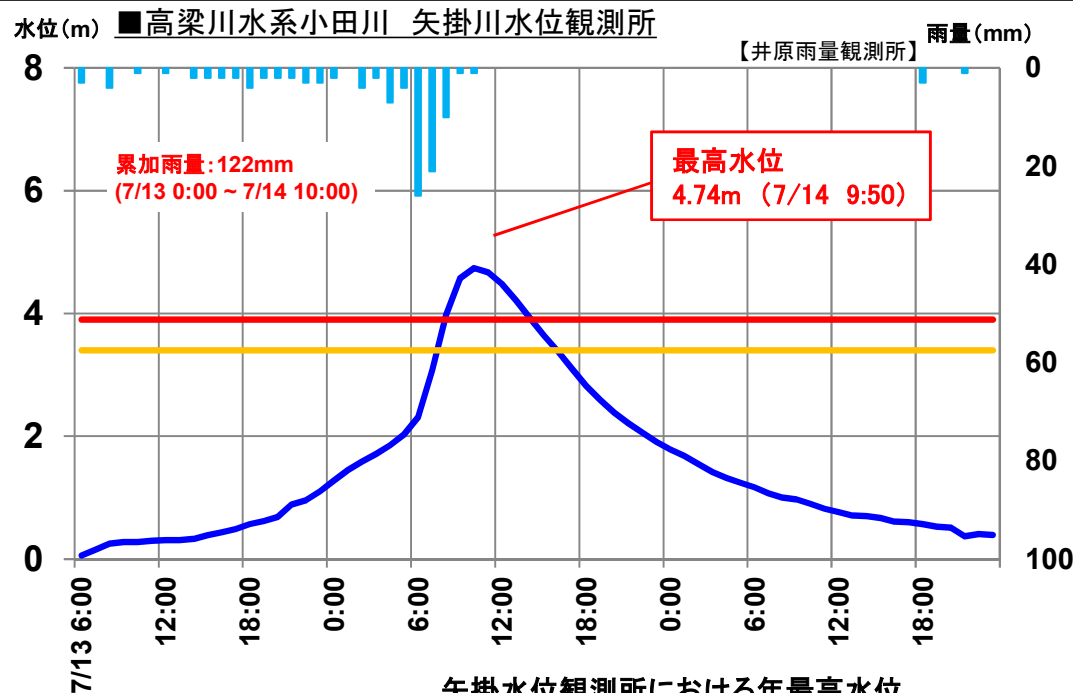


※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

水位の状況(高梁川水系小田川 矢掛地点)

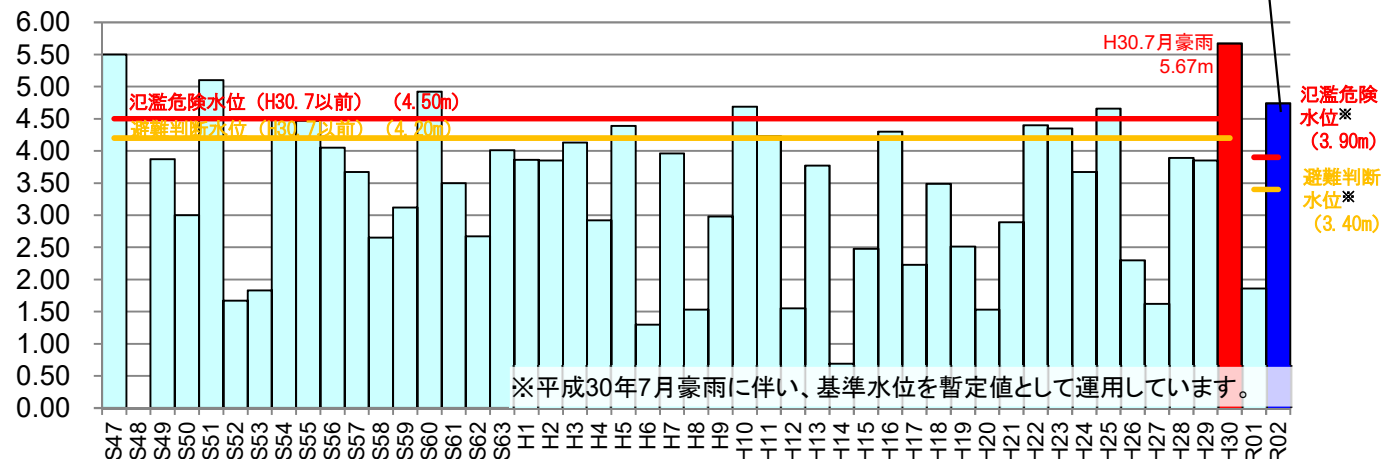
■高梁川水系小田川 矢掛地点において、氾濫危険水位※(3.90m)を超過し、最高水位4.74mを記録しました。

※平成30年7月豪雨に伴い、基準水位を暫定値として運用しています。



矢掛水位観測所における年最高水位
(高梁川水系小田川)

4.74m(7/14 9:50)



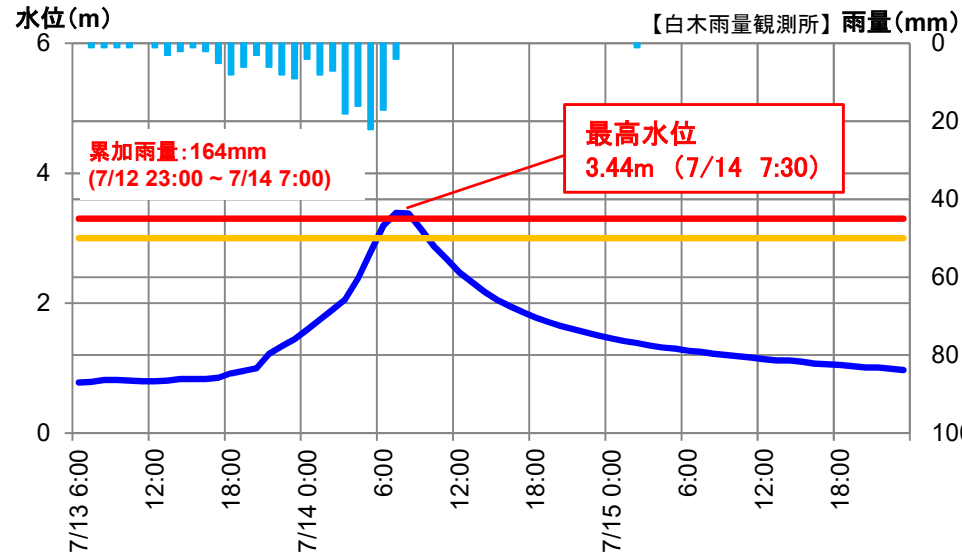
※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

水位の状況(太田川水系三篠川 中深川地点)

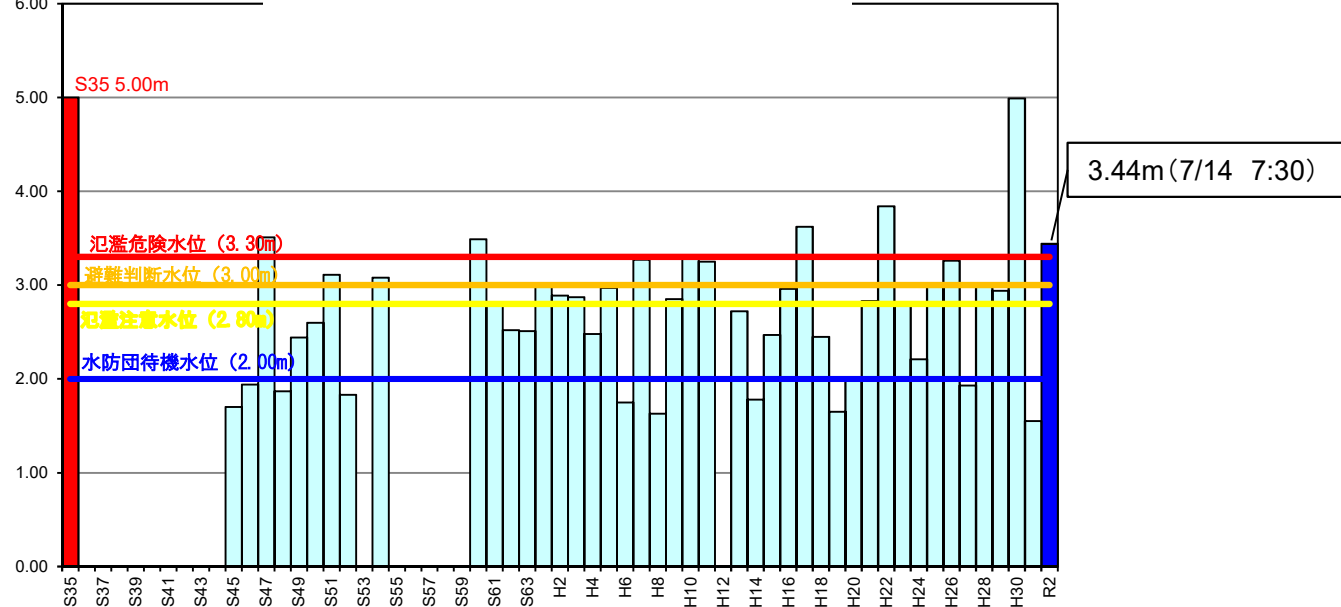
■太田川水系三篠川 中深川地点において、氾濫危険水位(3.30m)を超過し、最高水位3.44mを記録しました。



■太田川水系三篠川 中深川水位観測所



太田川(中深川水位観測所)における既往洪水の水位

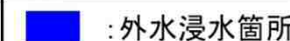
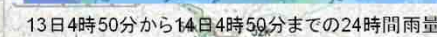
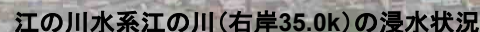
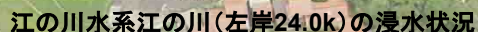


※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

3. 被害状況について

- 1) 江^{ごう}の^の川^{かわ}
- 2) 太^{おお}田^た川^{がわ}

■国土交通省防災ヘリによる7月14日15時時点の調査等によると、江の川の河口5kから55kにかけて、約223ha、143戸（いずれも速報値）の浸水を確認しました。



江の川上流管内図(1)

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

江の川水系江の川下流部の被災状況

■ 江の川水系江の川下流部では、高水敷の洗掘や護岸の損傷等が発生しました。



太田川水系太田川・三篠川・根谷川被災状況

- 太田川水系太田川では、高水敷の洗掘、護岸の損傷が発生しました。
- 太田川水系三篠川では、護岸の損傷、法面の損傷が発生しました。
- 太田川水系根谷川においても、護岸の損傷が発生しました。



位置図

【太田川・三篠川・根谷川河川管理施設被害状況】
高水敷洗掘 1箇所
護岸損傷 4箇所
法面損傷 1箇所

【護岸損傷】L=150m
根谷川左岸3k900付近



根谷川

【護岸損傷】L=20m
太田川右岸33k800付近



太田川

【高水敷洗掘】N=1箇所
太田川右岸4k600付近



太田川(放水路)

【護岸損傷】L=20m
三篠川右岸4k200付近



三篠川

【護岸損傷】L=40m
根谷川左岸2k700付近



根谷川

【法面損傷】L=50m
三篠川左岸7k400付近

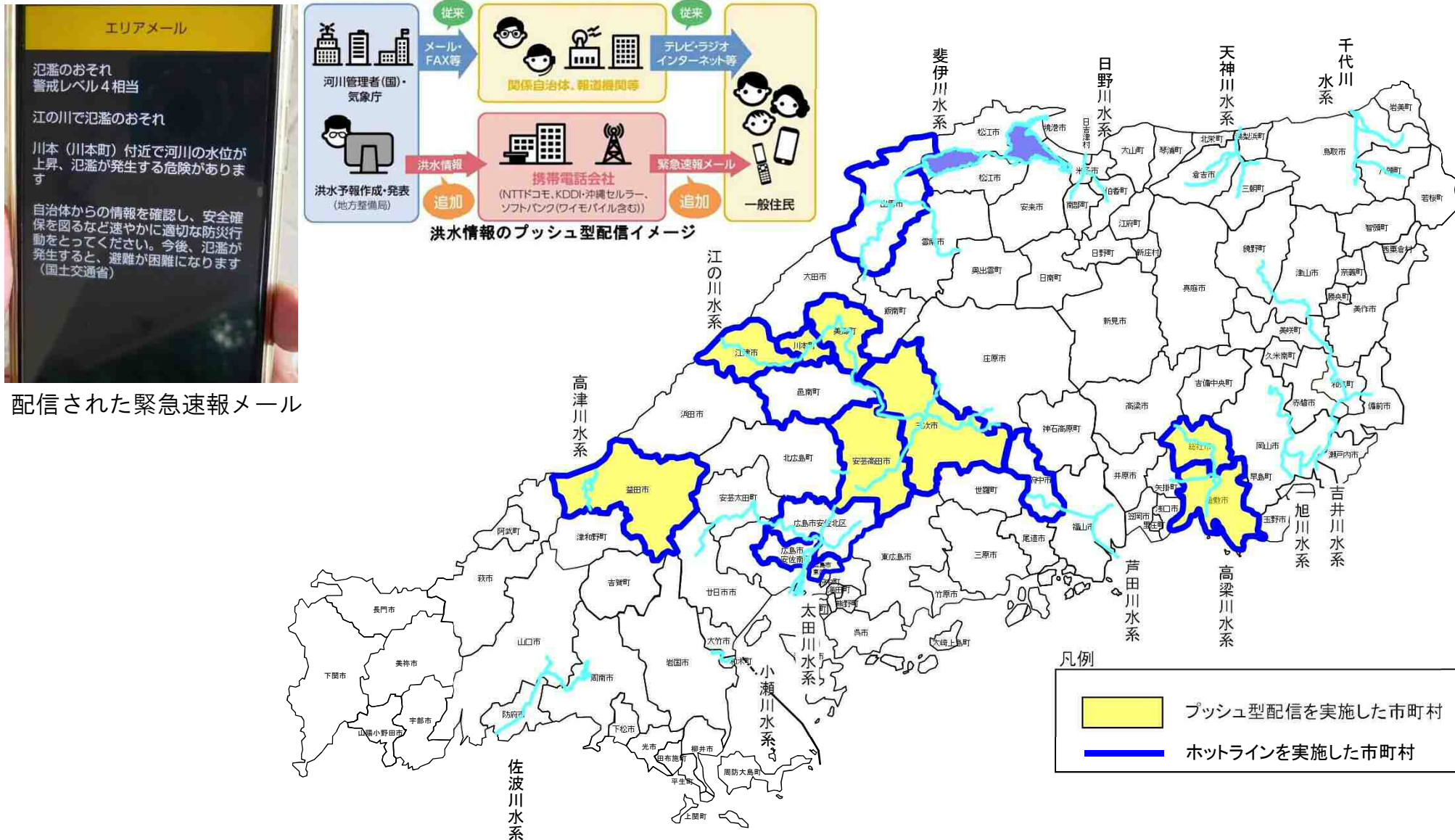


※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

4. 避難に係る情報提供

避難に係る情報提供(国管理河川)

- 気象庁と共同で発表する洪水予報のほか、避難勧告発令等の支援のため、自治体に河川の状況や今後の見通しを伝える **ホットラインを実施**しました。
- 6市2町の地域住民の皆様へ、延べ8回、**緊急速報メール(プッシュ型配信)**により洪水情報の伝達を実施しました。



配信された緊急速報メール

5. 排水ポンプ車等の稼働状況

排水ポンプ車等の災害対策機械の稼働状況

第1報と同じ

- 管内の広範囲にわたり、内水被害の恐れが生じたため、排水ポンプ車を派遣し、排水作業を実施しました。
- 江の川水系江の川においても、内水被害が発生し、排水ポンプ車10台により10箇所の排水作業を実施しました。

排水ポンプ車の主な稼働状況



【排水状況】



【川表排水状況】

江津市桜江町谷住郷(江の川右岸15k800)

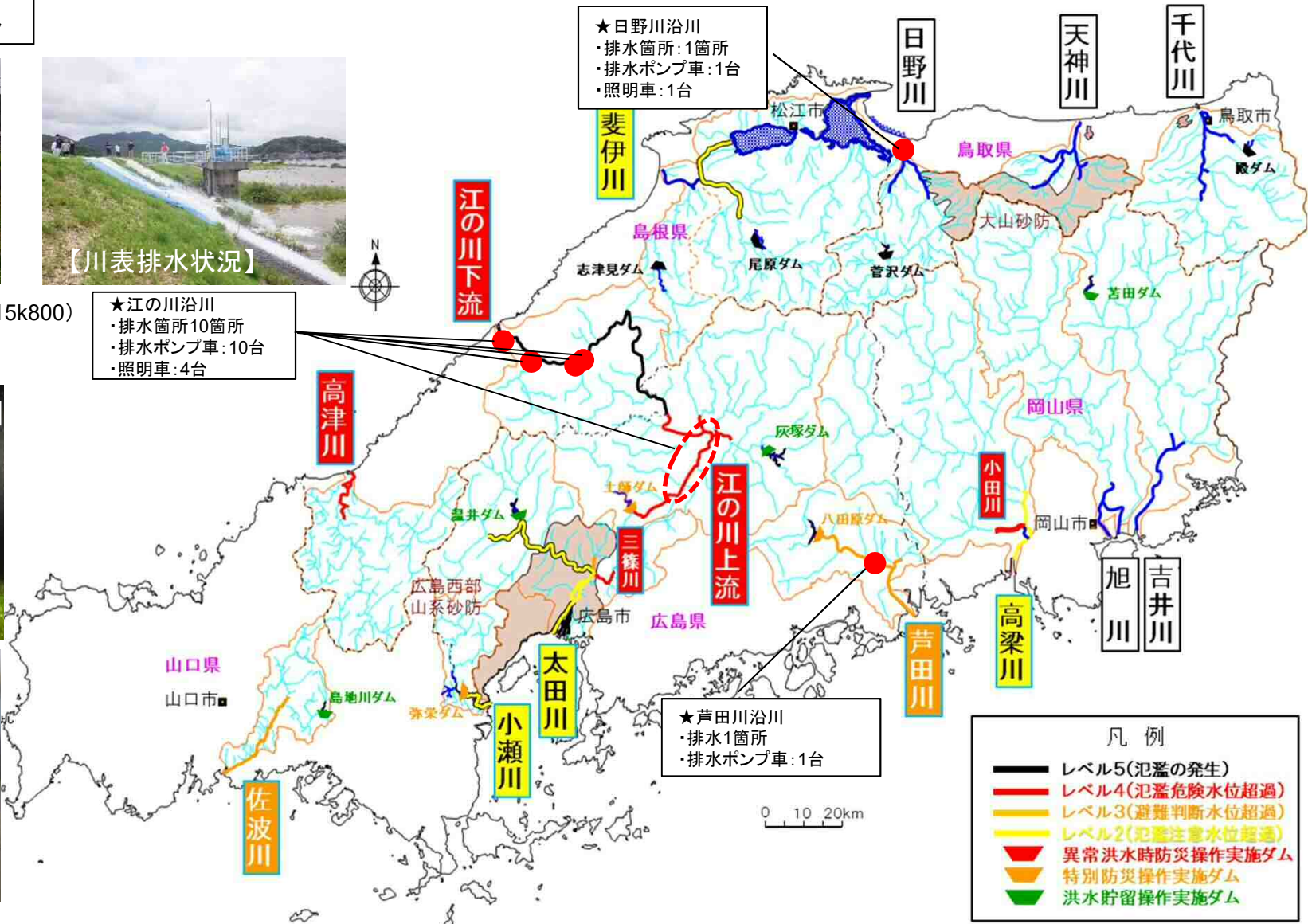


【照明車】



【排水状況】

三次市秋町(江の川左岸149k500)



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

6. 治水事業の効果

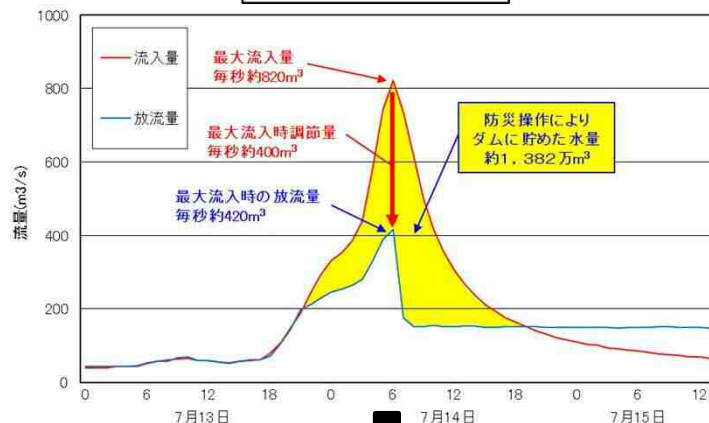
【ダムの効果】土師ダム、灰塚ダム(江の川)

- 梅雨前線の影響により、流域平均累加雨量が土師ダム上流で約200mm、灰塚ダム上流で約165mmを記録し、尾関山水位観測所では氾濫危険水位を超過しました。
- 土師ダムは、ダムへの流入量が最大で毎秒約820m³に達し、このとき毎秒約400m³の洪水をダムに貯めました。
- 灰塚ダムでは、ダムへの流入量が最大で毎秒約800m³に達し、このとき毎秒約590m³の洪水をダムに貯めました。
- これらのダム操作の結果、広島県三次市三次町付近の江の川の水位を約1.1m低下させることができたものと推定されます。

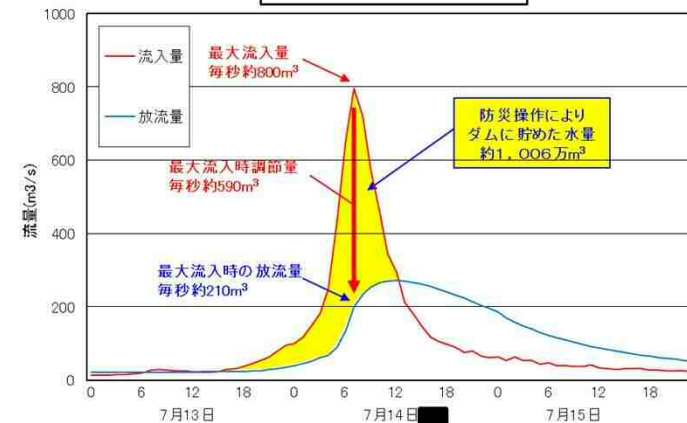
位置図(江の川)



土師ダムの調節効果



灰塚ダムの調節効果

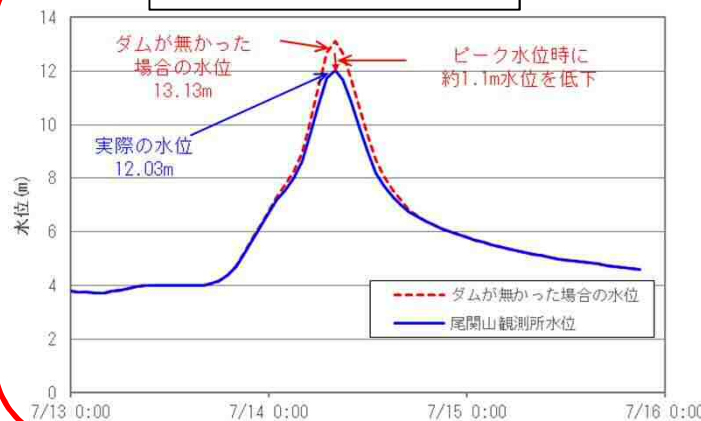


洪水の状況(尾関山水位観測所付近)

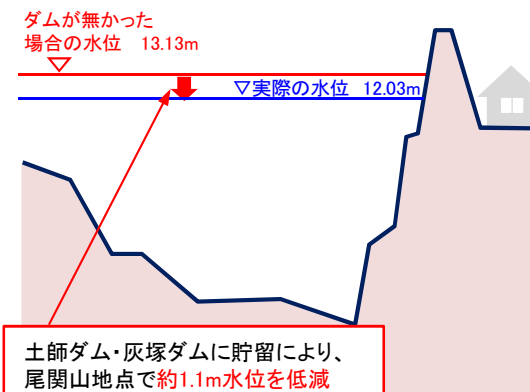
139k500付近 7月14日 08時頃



尾関山水位観測所付近の水位



上流2ダムによる効果(尾関山水位観測所付近)



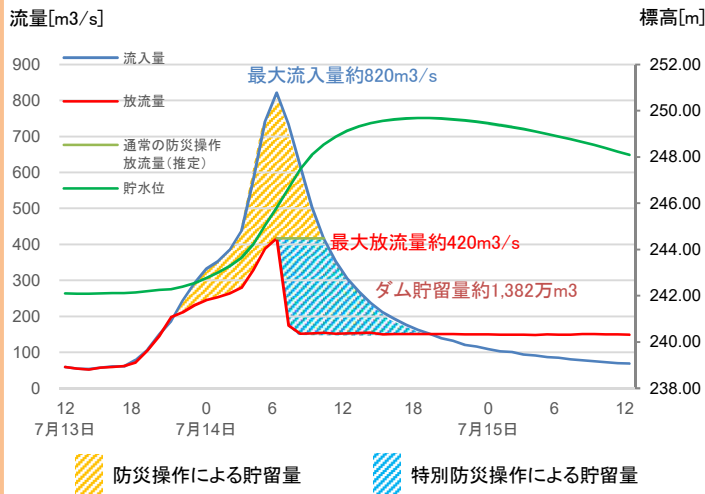
【ダムの効果】防災操作及び特別防災操作の実施状況

- 土師ダム：吉田地点(広島県安芸高田市)において**約1.35m**の水位低減効果があったものと推定されます。
- 弥栄ダム：小川津地点(山口県岩国市)において**約0.91m**の水位低減効果があったものと推定されます。
- 八田原ダム：父石町付近(広島県府中市)において**約0.89m**の水位低減効果があったものと推定されます。

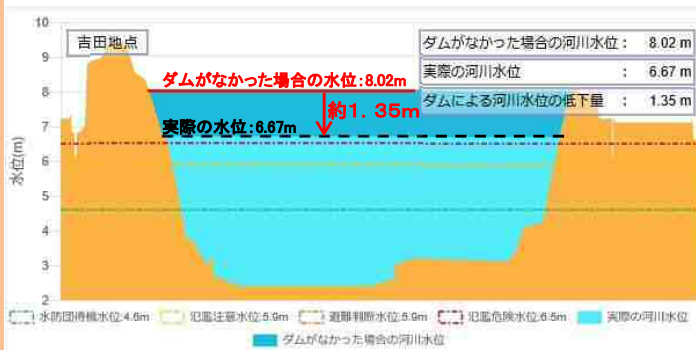
※特別防災操作とは…ダム下流の更なる被害軽減を行うため、ダム下流河川の水位等の状況に応じ、今後の予測降雨量、ダムの残りの貯水容量等を勘案しながらダムの貯水容量を可能な限り有効活用し、放流量を通常よりも減じる操作

土師ダム(江の川)

洪水調節実績図

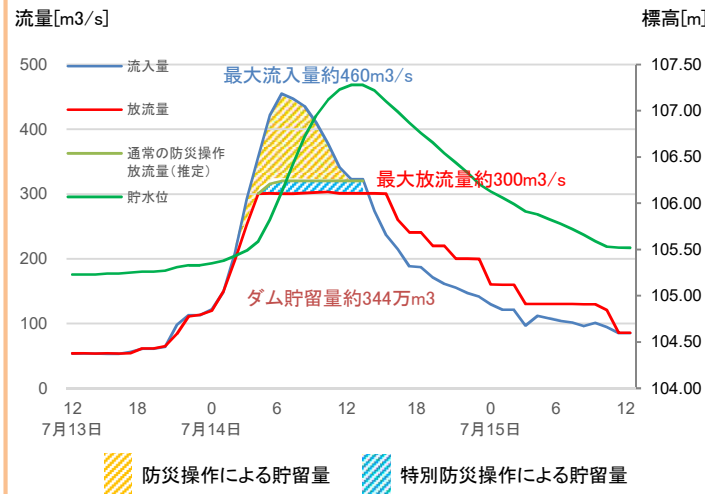


●ダムの効果(吉田地点:ダム下流12km付近)



弥栄ダム(小瀬川)

洪水調節実績図

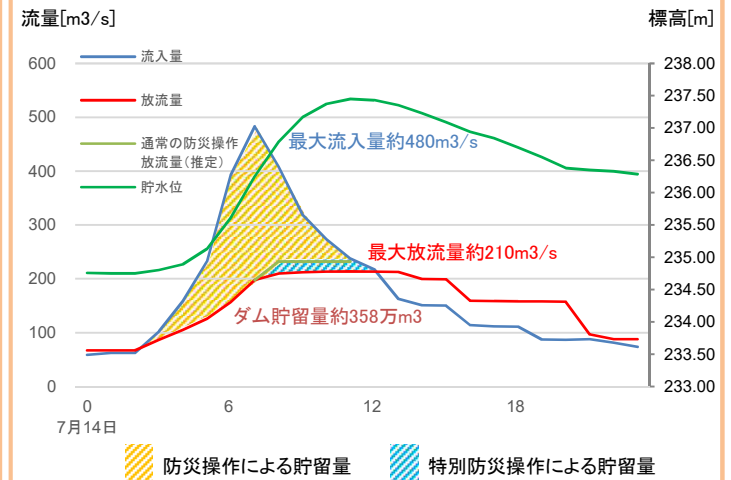


●ダムの効果(小川津地点:ダム下流2.5km付近)



八田原ダム(芦田川)

洪水調節実績図



●ダムの効果(父石町付近:ダム下流14km付近)

